

The Molecular Biology Society of Japan

MBSJ NEWS

日本分子生物学会

2017.11

No.118

会報

目 次

■ 平成 30 年度（第 40 回）通常総会のご案内	1
■ 第 7 回富澤基金贈呈式のご案内	1
■ 2017 年度生命科学系学会合同年次大会 Consortium of Biological Sciences 2017 (ConBio2017) 開催のお知らせ（その 3）	2
■ 研究倫理フォーラム 開催のお知らせ	6
■ 日本分子生物学会キャリアパス委員会 ／日本生化学会男女共同参画推進委員会 共同企画ランチョンセミナー —研究者人生における様々な選択肢—	7
■ キャリアパス委員会報告	8
■ 第 8 回（2018 年）日本分子生物学会 若手研究助成募集のお知らせ	9
■ 学術賞、研究助成の本学会推薦について	11
■ 第 20 期役員・幹事・各委員会名簿	12
■ 賛助会員芳名	13



特定非営利活動法人
日本分子生物学会

<http://www.mbsj.jp/>

2017年度

生命科学系学会合同年次大会



第40回 日本分子生物学会年会



第90回 日本生化学会大会

2017年12月6日(水)～9日(土)

神戸ポートアイランド

神戸ポートピアホテル、神戸国際会議場、神戸国際展示場、神戸商工会議所

第40回日本分子生物学会年会

年会長：篠原 彰 (大阪大学蛋白質研究所)

第90回日本生化学会大会

会 頭：天野 茂男 (横浜市立大学医学部)

演題投稿受付期間

2017年7月3日(月)～7月18日(火)

事前参加登録期間

2017年7月3日(月)～10月16日(月)

ConBio2017
Consortium of Biological Sciences 2017



共催：FAOBMB

協賛

日本医学会連合

生物科学学会連合

自然史学会連合

日本RNA学会

日本株と匂学会

日本医真菌学会

日本遺伝学会

日本遺伝子細胞治療学会

日本宇宙生物科学学会

日本栄養・食糧学会

日本エビジェネティクス研究会

日本解剖学会

日本遺学会

日本がん予防学会

日本寄生虫学会

日本ケノム鑑集学会

日本ケミカルバイオリジ学会

日本細菌学会

日本細胞生物学会

日本酸化ストレス学会

日本時間生物学会

日本実験動物学会

日本神経病理学会

日本人類遺伝学会

日本生物物理学会

日本生理学会

日本蛋白質科学会

日本動物学会

日本発生生物学会

日本比較内分泌学会

日本微生物生態学会

日本病理学会

日本フロンティア学会

日本放射線影響学会

日本免疫学会

日本薬理学会

後援

国立研究開発法人 科学技術振興機構

<http://www.aeplan.co.jp/conbio2017>

連絡先

2017年度生命科学系学会合同年次大会 (ConBio2017) 運営事務局 (株式会社エーイー企画 内)
〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-4-4 岩波書店一ツ橋別館4階
Tel: 03-3230-2744 Fax: 03-3230-2479 E-mail: conbio2017@aeplan.co.jp

平成 30 年度（第 40 回）通常総会のご案内

平成 29 年 11 月

会員各位

特定非営利活動法人 日本分子生物学会
理事長 杉本亜砂子

以下の要領で第 40 回通常総会を開催しますので、お知らせいたします。

今年は年会（ConBio2017）会期 2 日目の富澤純一先生メモリアル、第 7 回富澤基金贈呈式終了後の時間帯での開催となります。多くの会員のご出席をお願い申し上げます。

ご承知のように、本法人の重要な案件は総会で決定されます。総会成立には、正会員、名誉会員、シニア会員、次世代教育会員の総数の 1/2 以上の出席（委任状を含む）が必要となりますので、会員皆様の積極的なご参加をお願いいたします。

なお、総会案内通知および出欠はがき（委任状）は、新年度の会費請求書にも同封して発送（10 月下旬）しています。ご都合がつかない場合には、必ず、委任状をご提出くださるようお願いいたします。

記

日 時：平成 29 年 12 月 7 日（木） 19：15（富澤基金贈呈式終了後）～ 20：15 予定

《16 時から富澤純一先生メモリアル、18 時 45 分から第 7 回富澤基金贈呈式が行われます》

会 場：神戸ポートピアホテル 本館 地下 1 階 偕楽 2（第 2 会場）

予定議題：1) 経過報告（理事長報告、庶務報告、編集報告、その他）

2) 29 年度（2017 年度）決算承認の件

3) 30 年度（2018 年度）活動予算書承認の件

4) その他

※ 贈呈式・総会会場にて軽食をご用意いたします。

（先着順 / 数に限りがありますこと、ご了承ください）

※ 総会出欠票はがき（委任状）は、本会報ならびに新年度会費請求書の両方に同封しておりますので、いづれかでご返送ください。

第 7 回 富澤基金贈呈式のご案内

「富澤純一・桂子 基金」による第 7 回（2017 年）日本分子生物学会若手研究助成の贈呈式を下記の要領により開催します。多くの方々のご参加をお願いいたします。

理事長 杉本亜砂子
基金運営委員会委員長 山本 正幸

日 時：平成 29 年 12 月 7 日（木） 18：45～19：15

会 場：神戸ポートピアホテル 本館 地下 1 階 偕楽 2（第 2 会場）

第 7 回助成者：

片岡 研介（基礎生物学研究所クロマチン制御研究部門）

高瀬比菜子（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科疾患モデル動物解析学分野）

田尻 怜子（東京大学大学院新領域創成科学研究科）

二橋美瑞子（茨城大学理学部）

山口 知也（熊本大学大学院先端機構（併任）大学院生命科学研究部がん生物学分野）

2017 年度生命科学系学会合同年次大会 Consortium of Biological Sciences 2017 (ConBio2017) 開催のお知らせ (その 3)

会 期：2017 年 12 月 6 日(水)～9 日(土) (4 日間)
会 場：神戸ポートアイランド (神戸ポートピアホテル、神戸国際会議場、神戸国際展示場、
神戸商工会議所)
大 会 長：第 40 回日本分子生物学会年会 年会長 篠原 彰 (大阪大学蛋白質研究所)
第 90 回日本生化学会大会 会 頭 大野 茂男 (横浜市立大学医学部)
大会事務局連絡先：2017 年度生命科学系学会合同年次大会 (ConBio2017) 運営事務局
(株式会社エー・イー企画 内)
〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-4-4 岩波書店一ツ橋別館 4 F
Tel：03-3230-2744 Fax：03-3230-2479 E-mail：conbio2017@aeplan.co.jp
大会ホームページ：http://www.aeplan.co.jp/conbio2017

※大会開催の詳細は同封のプログラム集をご参照ください。

【プログラム】

プレナリーレクチャー
シンポジウム
ワークショップ
一般演題 (口頭発表、ポスター)
Late-breaking Abstracts (ポスター)
フォーラム
研究倫理委員会企画・研究倫理フォーラム
富澤純一先生メモリアル ―分子生物学の原点から未来は見えるか―
分子生物学会キャリアパス委員会 / 生化学会男女共同参画推進委員会 共同企画
高校生研究発表
ナショナルバイオリソースプロジェクト (NBRP)
最先端技術支援コーナー
使ってみようバイオデータベース ―つながるデータ、広がる世界 (BioDB)
ランチョンセミナー
機器・試薬・書籍等附設展示会

【参加登録に関するご案内】

○参加登録手続きについて

事前参加登録は 10 月 16 日(月)に締め切りました。なお、オンライン上で登録を行った場合でも、10 月 20 日(金)までに参加登録費を振り込んでいない場合は、事前参加登録は無効となります。後期事前参加登録、または、当日参加登録を行ってください。

本合同大会では、当日参加登録者を含むすべての参加者にオンライン上での個人情報入力を行っていただきます。11 月上旬～中旬より、後期事前参加登録および当日参加登録専用のシステムを開設いたします。後期事前参加登録と当日参加登録の参加登録費は同一ですが、会期中、参加受付は混雑が予想されますので、大会への参加を検討されている方には後期事前参加登録を強く推奨いたします。

事前参加登録者には 11 月中旬に参加章 (名札) を送付いたしますので、大会当日は参加章を着用のうえ、そのまま会場へご入場ください。参加章を着用していない方の入場は固くお断りいたします。

○参加登録受付窓口

	場 所	時 間	内 容
第 1 受付	神戸国際展示場 2号館 1階 ホワイエ	12/6～8 8:00～17:00 ※12/9は第2受付のみとなります。 ご注意ください	後期事前参加登録受付 当日参加登録受付 総合案内 学会入会・宿泊案内
第 2 受付	神戸ポートピアホテル 本館地下 1階 ホワイエ	12/6～8 8:00～18:00 12/9 8:00～17:00 ※第2受付ではクレジットカードの ご利用はできません。	12/6～8: 後期事前参加登録受付 当日参加登録受付 12/9: 総合案内、学会入会も対応可

○後期事前参加登録費、当日参加登録費

登録種別		後期事前参加登録 当日参加登録	プログラム集冊子	会期後 オンデマンド配信
会 員	分子生物学会 生化学会	13,000 円 (不課税)	学会年度会費に含む	視聴可 (大会参加費に含む)
	協賛学会		1部 3,000 円※	
学 生 会 員 (大学院生・学部学生)	分子生物学会 生化学会	5,000 円 (不課税)	学会年度会費に含む	
	協賛学会		1部 3,000 円※	
非 会 員		22,000 円 (税込)	1部 3,000 円※	視聴不可
学生非会員 (大学院生・学部学生)		7,000 円 (税込)	1部 3,000 円※	

※プログラム集冊子の代金は、大会参加費には含まれません。

※プログラム検索・要旨閲覧システム／アプリの代金はすべてのカテゴリーの大会参加費に含まれています。

※日本分子生物学会のシニア会員、次世代教育会員は大会事務局に直接メールにてお申し込みください。

(大会事務局 E-mail: conbio2017@aeplan.co.jp)

※大会参加費に飲食費は含まれません。

【オンラインプログラム検索・要旨閲覧システム／アプリ】

○プログラム検索・要旨閲覧システムは、オンラインとオフライン（アプリ（iOS、Android））で閲覧可能です。参加者と演者間でメッセージ送信できる「プライベートメッセージ機能」等、充実した機能を取り揃えております。11月15日(水)に公開予定です。

※WEBシステム、アプリはフィーチャーフォン（ガラケー）には対応していません。ご了承ください。

○大会ホームページの「オンラインプログラム検索・要旨閲覧システム」にアクセスしてください。また、アプリは App Store、Google Play よりダウンロードしてください（無料）。

アプリケーション名: ConBio2017

検索ワード: conbio2017

「オンラインプログラム検索・要旨閲覧システム」へのアクセスはこちらから

大会ホームページ <http://www.aeplan.co.jp/conbio2017>

※2017年11月15日(水)より公開予定。

○10月16日(月)までに事前参加登録した方には、オンライン要旨閲覧システムにログインするためのIDとパスワードを、大会事務局よりメール、および参加章に印字してお送りいたします。

○事前参加未登録者（後期事前参加登録者を含む）は、ログインなしに、プログラム検索のみ利用可能です。ただし要旨の閲覧・ダウンロード、スケジュール登録はできません。後期事前参加登録、および当日参加登録を行った方には、大会会場で参加登録費をお支払いいただいた後に要旨閲覧用のIDとパスワードをお渡しします。

○神戸国際展示場1号館～3号館のポスター展示会場に無線LANをご用意いたしますので、ご自身の端末を用いてインターネットをご利用ください。

※神戸国際展示場1号館～3号館のポスター展示会場以外ではご利用になれませんので、ご注意ください。

○大会に参加せず、オンラインプログラム検索・要旨閲覧システム／アプリのID、パスワードを入手ご希望の方は、大会事務局までメールにてお申し込みください。（conbio2017@aeplan.co.jp）

※オンデマンド配信視聴用ID、パスワードとは異なります。オンデマンド配信を視聴いただけるのは、大会にご参加いただいた会員のみとなり、販売はございません。

【Late-breaking Abstracts について】

一般演題締切り後に新たな研究の進展があり、ぜひとも発表したいという会員のご要望にお応えすべく Late-breaking Abstracts ポスター発表を行います。最新の研究成果をもとに議論を深めてください。なお、Late-breaking Abstracts はプログラム集には掲載されておませんが、オンライン要旨閲覧システム／アプリでご覧いただくことができます。

【オンデマンド配信について】

プレナリーレクチャーの全講演、ならびに指定シンポジウム・公募ワークショップのうち配信希望のあった企画について、日本分子生物学会、日本生化学会、協賛学会の会員参加者のみに限定した「オンデマンド配信」を予定しています。

会員参加者は、会期翌日の12月10日(日)から2か月間、聞き逃した講演をWebで視聴できるようにする予定です。プレナリーレクチャーを除く講演のオンデマンド配信は、合同年會に参加した会員のみを対象とし、非会員参加者、および合同年會に不参加の会員は視聴できません。ぜひ合同年會にご参加の上、ご活用ください。

視聴は参加者一人一人にID、パスワードを発行して、視聴してもらう形式になります。また、配信終了後、講演者から希望のあった場合には視聴された方のお名前と所属をお渡しする予定です。

後期事前参加登録者、当日参加登録者については、会期後に所属学会として申告された各学会での会員資格を確認後、オンデマンド配信視聴のID、パスワードを発行いたします。ID、パスワードの発行が配信開始から数週間程度遅れる可能性がございますので、あらかじめご了承ください。

【バーコードシステムについて】

本大会では参加章にバーコードシステムを採用しています。附設展示会見学、およびランチョンセミナーの整理券取得（またはセミナー会場入場）時にバーコードの読み取りを許可した場合、大会事務局は当該出展社、ランチョンセミナー共催社に参加者の氏名、所属先、職名、メールアドレスを開示いたします。以降、当該出展社、ランチョンセミナー共催社の責任管理のもと、製品やサービス、セミナーなどのご案内をする場合があります。配信停止等の手続きは、各企業・団体から個別に届くメールなどから行ってください。

【日程表（予定）】

	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
12月6日(水)			シンポジウム/ワークショップ/ 一般口頭発表 9:00-11:30	プレナリーレクチャー 10:30-11:25	ランチョン セミナー 11:45-12:45				プレナリーレクチャー 16:00-16:55	プレナリーレクチャー 17:10-18:05		フォーラム 18:45-20:15		
						展示会 見学	ポスター発表・討論 13:15-15:45					撤去		
			機器・試薬・書籍展示 10:00-17:00											
12月7日(木)			シンポジウム/ワークショップ/ 一般口頭発表 9:00-11:30	プレナリーレクチャー 10:30-11:25	ランチョン セミナー 11:45-12:45				プレナリーレクチャー 16:00-16:55	プレナリーレクチャー 17:10-18:05		フォーラム 18:45-20:15		
						展示会 見学	ポスター発表・討論 13:15-15:45					撤去		
			機器・試薬・書籍展示 10:00-17:00											
12月8日(金)			シンポジウム/ワークショップ/ 一般口頭発表 9:00-11:30	プレナリーレクチャー 10:30-11:25	ランチョン セミナー 11:45-12:45				プレナリーレクチャー 16:00-16:55	プレナリーレクチャー 17:10-18:05		フォーラム/ 学会企画 18:45-20:15		
						展示会 見学	ポスター発表・討論 13:15-15:45					撤去		
			機器・試薬・書籍展示 10:00-17:00											
12月9日(土)		シンポジウム/ ワークショップ/ 一般口頭発表 9:00-11:30		一般口頭発表/ フォーラム 11:45-13:15	分子生物学会 生化学会 共同企画 11:45-13:15	JBランチョン ワークショップ 11:45-13:15	プレナリーレクチャー 13:30-14:25	高校生研究発表 15:00-17:30		シンポジウム/ ワークショップ/ 一般口頭発表 13:30-16:00	一般口頭発表 16:15-17:45			

研究倫理フォーラム 開催のお知らせ

研究倫理委員会企画・研究倫理フォーラム「顕微鏡画像取得と定量解析の注意点」を下記の要領で開催いたします。
今回は顕微鏡画像解析・定量化の専門家を講師にお招きします。

講演1では顕微鏡画像取得の注意点、講演2ではデジタル画像から情報を抽出する際の基礎と関連する統計処理などについて、実用レベルですぐ参加者の役に立つテクニカルな内容をご講演いただきます。

正しく適切な方法、科学的なスタンダードの感覚を養う機会として、学生や若手研究者の皆様はもちろん、PIの方々も含む幅広い年齢層のご参加を歓迎いたします。

ふるってご参加いただけますようお願い申し上げます。

日 時：2017年12月6日(水) 18：45～20：15

会 場：神戸国際会議場5階501（第17会場）

●講演1

「研究者が知っておくべき撮像時の注意点」

寺井 健太（京都大学大学院生命科学研究科）

●講演2

「デジタル顕微鏡画像からの特徴量の定量化と統計処理のイロハ」

木村 暁（国立遺伝学研究所）

●フロアとのディスカッション

ファシリテーター：塩見 春彦（委員長）、木村 宏、胡桃坂仁志、菅澤 薫、杉本亜砂子（日本分子生物学会理事長）

※会場では軽食（100食程度）をご用意いたします。

※本フォーラムの講演はオンデマンド配信を予定しております。

日本分子生物学会キャリアパス委員会／日本生化学会男女共同参画推進委員会 共同企画ランチョンセミナー

「研究者人生における様々な選択肢」

日 時：2017 年 12 月 9 日(土) 11:45～13:15

会 場：神戸ポートピアホテル 本館 地下 1 階「和楽」(第 4 会場)

●イントロダクション

小林 武彦 (日本分子生物学会キャリアパス委員会 委員長)

●ケータイをつかった聴衆参加型ディスカッション

【第一部】

《分生》井関 祥子 (医科歯科大)、大谷 直子 (大阪市大)、小林 武彦 (東大)、
中川 真一 (北大)、花嶋かりな (早大)

《生化》今泉 美佳 (杏林大)、澤崎 達也 (愛媛大／司会)

【第二部】

《分生》加納 純子 (阪大)、來生江利子 (第一三共)、木村 宏 (東工大)、
齊藤 典子 (がん研／司会)、山本 卓 (広島大)

《生化》齋藤 玉緒 (上智大)、高須賀太一 (北大)

人生には様々な岐路がありますが、研究者人生にも多くの選択肢があり、時には大きな決断を迫られることがあります。例えば博士課程に進学するのか、企業に就職するのか、日本でポスドクになるのか、海外留学するのかなどなど。

ConBio2017 では、日本分子生物学会キャリアパス委員会と日本生化学会男女共同参画推進委員会の共同企画ランチョンセミナーとして、「研究者人生における様々な選択肢」について、それをどのように考え決断してきたのか、先人の意見を聞きながら語り合いたいと考えております。

※本ランチョンセミナーはオンデマンド配信を予定しております。

※会場にてお弁当をご用意いたします。(先着順／数に限りがありますこと、ご了承ください)

※参加者の皆様にはご自身のスマートフォン・タブレット端末等から専用サイトへアクセスしていただき、ご意見を会場のスクリーンにリアルタイム表示する「ケータイアナライズシステム」を導入します。

キャリアパス委員会報告

1. 第40回日本分子生物学会年会（ConBio2017）に関連して

i) 演題発表者の属性調査について

今年も年会の演題登録ページに属性調査項目を設定し、研究者の属性に関するアンケートを行いました。ご回答くださった皆様、ありがとうございます。現在、結果の集計を進めております。分析結果はポスターにまとめ、年會会場に掲示し、学会ホームページでご報告いたします。

ii) 年会託児室の利用について

分子生物学会の年會に初めて託児室が設置された2001年以来、利用者の要望にあわせて、サービスの向上に取り組んでいます。過去3年好評でしたお子さま用お弁当予約受付を今年も行うことになりました。託児室利用・お子さま用お弁当の申込締切は2017年11月20日(月)です。詳しくはConBio2017のホームページをご覧ください。利用者の方は、利用者アンケートへのご協力をよろしくお願いいたします。

2. アンケートの実施

「研究者人生における様々な選択肢」に関するアンケート

2017年8月10日～31日の期間、日本生化学会男女共同参画推進委員会と協力し、ConBio2017分子生物学会・生化学会共同企画ランチョンセミナー事前アンケートとして「研究者人生における様々な選択肢」に関するアンケートを実施しました。850名近い方から回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。この調査結果をふまえ、本企画の準備を進めております。調査結果は学会ホームページに掲載いたします。

3. 男女共同参画学協会連絡会報告

「女子中高生夏の学校2017～科学・技術・人との出会い～」(8月5日～7日)

このイベントは、国立女性教育会館が主催となり、女

子中高生が科学技術の世界の楽しさや活躍する女性たちの生き方の魅力に触れ、科学技術に関心のある仲間や先輩と知り合うこと、また子どもたちが進路選択をする際に影響力の大きい保護者・教員の理解を深めることなどを目的として開催されており、男女共同参画学協会連絡会もその企画・運営に協力しています。今年は、全国から103名の女子中高生、19名の保護者・教員が参加しました。

分子生物学会はこのイベントが始まった2005年以来、イベント全体の企画・運営サポートを続けております。今年のサイエンスプログラム講師役は昨年を引き続き下記の会員各位にご協力いただきました。

〈実験・実習〉

・「最初の一人は誰？感染症の集団発生を科学しよう！」
植松 崇之（北里大学）

〈ポスター〉

・「腎臓の仕組みや腎臓病を知る」
稲城 玲子（東京大学）
・「口腔細菌の全身の病気への関わり」
田代有美子（日本歯科大学）

一度参加された会員がその後も有志のリピーターとして熱心に活動を続けてくださるのもこのイベントの特徴です。理系進路に進んだ先輩と交流する様々な切り口のキャリア相談プログラムが会期を通じて行われる中、多様性に富んだキャリアの研究者が集う分子生物学会は、多彩なロールモデル情報の提供にも一役買っております。

今後も中高生へ分子生物学の魅力を伝え、理系進路選択の支援を続けていきたいと考えています。ご協力をよろしくお願いいたします。

キャリアパス委員会 委員長 小林 武彦

第8回(2018年)日本分子生物学会 若手研究助成募集のお知らせ

本学会は、2010年に富澤純一博士〔2017.1.26 逝去〕と故・桂子夫人のご厚意を受け、「日本分子生物学会 若手研究助成 富澤純一・桂子 基金」を立ち上げ、2011年度より若手研究助成事業を実施しています。

当基金の目的とするところは、分子生物学、あるいはさらに広く生命科学の新しい展開を目指す研究を志しながらも、研究費の欠乏や生活上の制約のために十分に力を発揮できていない若手研究者に、使途を限定しない助成を行って、研究の発展を可能にさせることです。使途を限らない本助成の特色を活用した、創意に富んだ研究推進提案を歓迎いたします。

2018年度も以下のように募集いたします。助成をご希望の方は、下記の応募要項に従って奮ってご応募ください。

特定非営利活動法人 日本分子生物学会
第20期理事長 杉本亜砂子

【応募要項】

1. 研究助成金の趣旨

分子生物学に関連する生命科学の基礎的な領域において独創的な研究を行い、将来の発展を期待し得る若手研究者に対して、「日本分子生物学会 若手研究助成 富澤純一・桂子 基金」に基づいて助成します。選考に当たっては、本助成がその方の研究の発展にどれだけ効果的に寄与できるかという観点にも配慮します。

2. 助成金額

助成金額は、一人300万円。年度ごとの助成人数は5名。再度の応募を妨げません。

(2011年から2020年の10年間で総額1億5000万円を助成予定)

3. 応募資格

(1) 分子生物学に関連する生命科学の基礎的な領域において独創的な研究を行い、将来の発展を期待し得る39歳以下(*1978年1月1日以降に生まれた人)の若手研究者を対象とします。ただし、研究経歴において特別な事情がある場合は39歳を超えていても応募を受け付けます。

(2) 日本分子生物学会会員・非会員は問いません。

(3) 申請者の単独研究、または申請者が中心になって行っている共同研究を対象とします。

4. 研究助成金の使途、ならびに会計処理

(1) 研究推進に関係することであれば、使途は限定しません(例えば研究時間を確保するためのベビーシッター費用、海外留学費用なども可)。

(2) 本助成金は直接研究費以外にも自由度をもって使用できるものとします。そのために、原則、研究助成金は一時所得扱いとし、学会が源泉徴収を行います

(50万円を超える、250万円につき10%の源泉徴収(*+若干の復興特別所得税が加算されます))を行います。分子生物学会が支払い調書を発行します。*海外からの申請は下記にご留意ください。

海外に長く滞在の場合、ビザの種類にかかわらず日本国税法区分では「非居住者の一時所得扱い」となります。この場合、いずれの国においても、助成金300万円のうち50万円を超える250万円に対して20%を源泉徴収(+若干の復興特別所得税が加算されます)しなければなりませんので、ご留意ください。ご不明な点は事務局までお問い合わせください。

(3) 助成金の全額または一部を所属研究機関の委任経理金扱いにされたい場合は対応しますので、お申し出ください。この場合、当該部分に対する源泉徴収はありません。ただし本助成から間接経費の負担は行いません。

5. 応募方法

申請書は、分子生物学会ホームページからダウンロードして使用してください。

(1) 最初に、第8回(2018年)日本分子生物学会 若手研究助成 申請サイトへアクセスし、所定の内容を送信してください。

(2) 申請書(電子データ/PDFファイル形式で最大10ページ以内に収めてください)と論文別刷(3篇以内の電子データ/PDFファイル)を添付ファイルの形で、kenkyujosei@mbjs.jpへメール送信してください。

(1)(2)の手続きは、その順番どおりに手配を行い、必ず締切日までに2点の手続きを完了するようにしてください。

事務局の資料確認・照合の都合上、(1)(2)の手続きは2日以内を目安に完了してください。(申請書、論文別刷ともに、提出いただくのは電子データのみです。オリジナルの郵送は必要ありません。)

*注意 ホームページ内に設置されます上記の「申請サイト」は、応募受付開始日より、その運用を開始します。

6. 応募受付期間と締切日時

●応募受付期間：2018年1月15日(月)10:00
～2月9日(金)17:00

●締切日時：2018年2月9日(金)17:00
(時間厳守)

7. 選考方法

基金運営委員会が選考に当たります。一次書類審査の後、ヒアリングを実施し、その結果により、採択者を決定します。

ヒアリングは2018年5月を予定しており、応募者本人がヒアリングに出席することを原則としますので

ご留意ください。

なお、「日本分子生物学会 若手研究助成 富澤純一・桂子 基金」基金運営委員会は2018年1月より第3期の委員会に移行し、約半数の委員が交代します。委員会構成は決まり次第、学会 HP でお知らせいたします。

8. 研究助成金の交付

2018年6月までに指定銀行口座に送金予定です。

委任経理金にする場合は、各大学等で定められている取扱い規定、その手続きにより交付します。

9. 贈呈式

第8回研究助成対象者については、原則として、2018年11月の第41回日本分子生物学会年会（横浜）における富澤基金贈呈式（総会）への出席を要請します。

10. 研究成果公表

本助成金を使用した研究成果を、学術雑誌等に公表する場合は、「日本分子生物学会 若手研究助成 富澤純一・桂子 基金」(Tomizawa Jun-ichi & Keiko Fund of Molecular Biology Society of Japan for Young Scientist) から助成を受けた旨を明記してください。また、同刊行物の別刷等を1部、本学会事務局へ提出してください。

11. 研究成果および会計報告

- (1) 本助成金受領者は、助成金を受領した翌々年の5月末までに、研究成果と会計報告の概要を、「日本分子生物学会 若手研究助成 富澤純一・桂子 基金」基金運営委員会あてに提出してください。様式は問いません（一時所得扱いの受領者は、会計報告に際

して、領収書の提出は不要です。使途の一覧を提出ください。研究成果報告書には、論文発表・学会発表等の情報も含めて作成ください。

- (2) 本助成金受領者は、(1)の研究成果と会計報告を提出した年に開催される年会において、研究成果発表（会期中、専用コーナーでのポスター掲示）を行うものとします。
- (3) 本研究助成の贈呈対象者として、相応しくない行為があった場合には、助成金の返還を求めることがあります。

12. 本研究助成の趣旨に賛同し、基金への拠金をお考えくださる方は、分子生物学会事務局気付・基金運営委員会までお申し出ください。

* その他

有志の方々へ

分子生物学の振興に向けた、各種基金のご寄付をお考えの方がおられましたら、是非ともご連絡ください。日本分子生物学会が責任を持って対応・運用いたします。

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-11-5

人材開発ビル 4 階

特定非営利活動法人 日本分子生物学会

「日本分子生物学会 若手研究助成 富澤純一・桂子 基金」

基金運営委員会

TEL : 03-3556-9600 FAX : 03-3556-9611

E-mail : kenkyujosei@mbsj.jp

学術賞、研究助成の本学会推薦について

本学会に推薦依頼あるいは案内のある学術賞、研究助成は、会報 No.117（6月号）および学会 HP に一覧として掲載しております。そのうち、応募にあたり学会等の推薦が必要なものについての本学会からの推薦は、賞推薦委員会または研究助成選考委員会の審査に従って行います。応募希望の方は、直接助成先に問い合わせ、申請書類を各自お取寄せのうえ、ふるってご応募下さい。

本学会への推薦依頼の手続きは次の通りです。

1. 提出物

- 1) 本申請に必要な書類（オリジナルおよび募集要項に記載されている部数のコピー）
- 2) 本学会の選考委員用および学会用控に、上記申請書類のコピー計6部
- 3) 申込受付確認のための返信封筒（返信用の宛名を記入しておいて下さい）
- 4) 論文（別刷は各種財団等応募先の必要部数をご用意下さい。委員会用の論文は不要です）

2. 提出先

※賞推薦についての送付先

日本分子生物学会・賞推薦委員長 後藤由季子
〒102-0072 千代田区飯田橋 2-11-5
人材開発ビル 4階

日本分子生物学会事務局気付

※研究助成についての送付先

日本分子生物学会・研究助成選考委員長 影山龍一郎
〒102-0072 千代田区飯田橋 2-11-5
人材開発ビル 4階
日本分子生物学会事務局気付

3. 提出期限

財団等の締切りの1カ月前まで。提出期限後に受取った場合や、提出書類が不備な場合は、選考の対象にならないことがあります。推薦手続きのことでご不明な点がございましたら、学会事務局までお問い合わせ下さい。

※研究助成（学会推薦）に関する留意事項

学会推薦した会員が財団等の研究助成対象者となった場合には、その研究成果を将来、学会誌「Genes to Cells」に論文あるいは総説として発表して頂くように要請いたします。

応募に際しては、その旨をご了解くださるようお願いいたします。

※各種学術賞（学会推薦）に関する留意事項

- 委員会の内規により、外部財団等の各種学術賞への推薦は、原則として一人につき年度あたり1件となっておりますので、ご了解ください。
- 重複申請があった場合、すでにある賞等の推薦が決定されている候補者は、それ以降審査する他の賞等の推薦候補者として原則的に考慮いたしません。応募に際し、ご留意くださるようお願いいたします。

第20期役員・幹事・各委員会名簿

理事長

(任期：2017年1月1日～2018年12月31日)

杉本亜砂子（東北大・生命）

副理事長

小林 武彦（東大・分生研）、小安重夫（理研・IMS）

理事

阿形 清和（学習院大・理）

五十嵐和彦（東北大・医）

石川 冬木（京大・生命）

稲田 利文（東北大・薬）

上田 泰己（東大・医）

大隅 典子（東北大・医）

貝淵 弘三（名大・医）

影山龍一郎（京大・ウイルス・再生研）

菊池 章（阪大・医）

木村 宏（東工大・科学技術創成研究院）

胡桃坂仁志（早稲田大・先進理工）

後藤由季子（東大・薬）

小原 雄治（遺伝研）

塩見 春彦（慶應大・医）

白髭 克彦（東大・分生研）

菅澤 薫（神戸大・バイオシグナル総合研究センター）

中島 欽一（九大・医）

仲野 徹（阪大・医 / 生命機能）

中山 敬一（九大・生医研）

鍋島 陽一（先端医療財団先端医療センター）

西田 栄介（京大・生命）

深水 昭吉（筑波大・TARA センター）

正井 久雄（都医学研）

三浦 正幸（東大・薬）

水島 昇（東大・医）

山本 卓（広島大・理）

吉田 稔（理研・和光）

監事

岡田 清孝（龍谷大・農）、近藤 寿人（京産大・生命）

幹事

庶務幹事 稲田 利文（東北大・薬）、深川 竜郎（阪大・生命機能）

会計幹事 三浦 正幸（東大・薬）

編集幹事 上村 匡（京大・生命）

広報幹事 塩見 春彦（慶應大・医）

集会幹事 篠原 彰（第40回年会）、井関 祥子（第41回年会）

第20期執行部

杉本理事長、小林副理事長（キャリアパス委員長）、小安副理事長、
稲田庶務幹事（理事）、深川庶務幹事、塩見広報幹事（理事）

Genes to Cells 編集長

柳田充弘（沖縄科学技術大学院大学）

賞推薦委員会

後藤由季子（委員長）、稲田利文、小原雄治、深水昭吉、正井久雄

研究助成選考委員会

影山龍一郎（委員長）、上田泰己、木村 宏、菅澤 薫、中島欽一

国際会議支援・選考委員会

石川冬木（委員長）、五十嵐和彦、貝淵弘三、水島 昇、吉田 稔

キャリアパス委員会

小林武彦（委員長）、井関祥子、大谷直子、加納純子、夾生（道下）江利子、
木村 宏、胡桃坂仁志、齊藤典子、中川真一、花嶋かりな、山本 卓

研究倫理委員会

塩見春彦（委員長）、木村 宏、胡桃坂仁志、菅澤 薫

生命科学教育

胡桃坂仁志（担当理事）

将来計画委員会（第20期執行部が兼務）

杉本亜砂子（理事長）、小林武彦、小安重夫、稲田利文、深川竜郎、塩見春彦

国際化対応ワーキンググループ（2017年4月16日発足）

林 茂生（座長）、石川冬木、篠原 彰、菅澤 薫、深川竜郎

「日本分子生物学会 若手研究助成 富澤純一・桂子基金」第2期 基金運営委員会（任期：2015年1月1日～2017年12月31日）

山本正幸（委員長）、小原雄治（副委員長）、上村 匡、大杉美穂、
近藤 滋、塩見美喜子、東山哲也、杉本亜砂子（職指定）

日本分子生物学会 賛助会員一覧

(2017 年 10 月現在)

アサヒグループホールディングス株式会社
株式会社エー・イー企画
科学技術振興機構 バイオサイエンスデータベースセンター
科研製薬株式会社 薬理部
協和発酵キリン株式会社 研究開発本部企画推進グループ
コスモ・バイオ株式会社 開発部
サーモフィッシャーサイエンティフィック ライフテクノロジーズジャパン株式会社
第一三共株式会社 モダリティ研究所
タカラバイオ株式会社 事業開発部
株式会社ダスキン 開発研究所
田辺三菱製薬株式会社
株式会社東海電子顕微鏡解析
東洋紡株式会社 ライフサイエンス事業部
株式会社トミー精工
ナカライテスク株式会社 開発企画部広報課
日本ゼオン株式会社
日本甜菜製糖株式会社 総合研究所第二グループ
日本ベクトン・ディッキンソン株式会社 BD バイオサイエンス
日本たばこ産業株式会社 植物イノベーションセンター
浜松ホトニクス株式会社 システム営業部
富士レビオ株式会社 研究推進部バイオ研究グループ
フナコシ株式会社
三菱ケミカル株式会社
ヤマサ醤油株式会社 R & D 管理室
湧永製薬株式会社 湧永満之記念図書館
ワケンビーテック株式会社 学術部

(26 社、50 音順)

■第 40 回日本分子生物学会年会 (ConBio2017) 公式サイト
URL: <http://www.aeplan.co.jp/conbio2017/>

■日本分子生物学会 Facebook 公式アカウント
URL: <http://www.facebook.com/mbsj1978/>

特定非営利活動法人
日本分子生物学会 事務局

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-11-5

人材開発ビル 4 階

TEL: 03-3556-9600 FAX: 03-3556-9611

E-mail: info@mbsj.jp

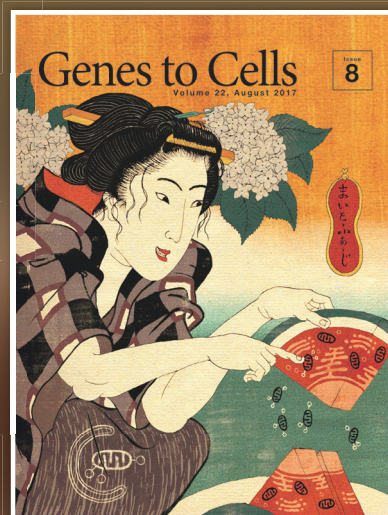
Genes to Cells

Published on behalf of the Molecular Biology Society of Japan

Edited by: Mitsuhiro Yanagida

Frequency: Monthly | Impact Factor: 1.993

日本分子生物学会の学会誌Genes to Cellsは、分子生物学の優れた研究成果を掲載し、著者にとって有益な学術情報や先見性の高い最新の研究情報を提供しています。全世界12,000以上の機関で読まれており、年間230,000件以上のダウンロード数を誇ります。是非Genes to Cellsにご投稿ください。



Genes to Cells 投稿の利点

- ・ わかりやすく便利なオンライン投稿システム
- ・ 2015年からの完全オンライン化でカラー掲載料がなくなりました
- ・ 出版までの過程をお知らせするAuthor Servicesをご利用いただけます
- ・ 早期出版EarlyViewサービスにより、最新号への収載を待たずにオンラインで出版されます
- ・ 出版後6ヵ月経過した全論文が無償公開となり、世界中からアクセス可能になります
- ・ オープンアクセス希望者はオプションで『Online Open』(有料)を選択できます
- ・ 2012年9月以降の総説は日本分子生物学会のサポートを受け OnlineOpen で公開中

オンライン投稿はこちら

<http://mc.manuscriptcentral.com/gtc>

2015年・2016年出版 引用数TOP論文 *2017年8月現在

RNA pol II transcript abundance controls condensin accumulation at mitotically up-regulated and heat-shock-inducible genes in fission yeast (Volume 20, Issue 6)

Nakazawa, N; Sajiki, K; Xu, X; Villar-Briones, A; Arakawa, O; Yanagida, M

Baton pass hypothesis: successive incorporation of unconserved endogenous retroviral genes for placentalization during mammalian evolution (Volume 20, Issue 10)

Imakawa, K; Nakagawa, S; Miyazawa, T

Rotating pigment cells exhibit an intrinsic chirality (Volume 20, Issue 1)

Yamanaka, H; Kondo, S

ジャーナル閲覧ページ

www.wileyonlinelibrary.com/journal/gtc

日本分子生物学会員は無料でアクセスできます。
初回ユーザー登録は学会事務局まで (info@mbsj.jp)
登録後の問合せはWileyまで (cs-japan@wiley.com)

iPhone, iPad 用ジャーナルアプリを
使って閲覧できます。
無料ダウンロード →



WILEY

304806

The Molecular Biology Society of Japan NEWS

日本分子生物学会 会報

(年 3 回刊行)

第 118号 (2017年11月)

発 行——特定非営利活動法人 日本分子生物学会

代表者——杉本亜砂子